

にぎわい

東北版

～ 日本海にぎわい・交流海道ネットワーク通信～

会員だより

【秋田県男鹿市】

『秋田船方節 全国大会』今年も11月に開催

男鹿市は、日本海に突き出た半島で三方を海に囲まれており、古来、海を介して歴史や文化を育んできました。

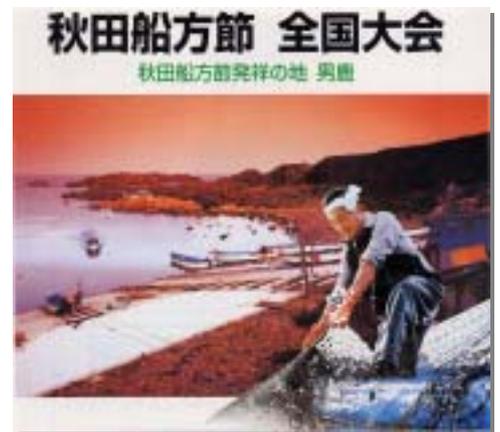
当半島の南部に位置する船川港は、周囲が岩礁に囲まれて波浪が少なく、また北西に位置する真山などの山地が日本海特有の季節風を防ぎ、古くから「風待ち港」「避難港」として利用されてきた歴史を持っています。

このように、海と深い関わりのあるまちにふさわしく、本市は、秋田県を代表する民謡のひとつである「秋田船方節」発祥の地となっており、今年も11月16、17日の2日間にわたって「秋田船方節全国大会」が、船川港にほど近い(車で5分)男鹿市民文化会館で開催されます。

秋田船方節の正しい伝承と保存及び普及を図る目的で昭和63年に初めて開催されて以来、今年で本大会も第15回目を迎えることになりました。

荒々しい男鹿の海で漁をする男達の心意気を、海のように広く伸びやかな節回しに託し、人間味豊かな感情がにじみ出る哀調の歌詞が特徴の「秋田船方節」。今回も優勝を目指し全国から参加する方々の、日頃鍛えた自慢ののどが存分に競い合われることでしょう。

民謡好きな方、そうでない方も、この機会に景勝の地・男鹿半島にお越しいただき、「秋田船方節」をはじめとする文化や豊かな、自然を満喫されてはいかがでしょうか。



前年度ポスターより



子供達も熱唱「年少者の部」



審査結果発表 栄冠は誰に？

【山形県酒田市】

平成15年4月に酒田鮮魚センター(仮称)オープン予定

酒田港では、中心市街地に近接する本港地区に平成15年4月下旬のオープンを目標に酒田鮮魚センター(仮称)の整備を進めています。

酒田鮮魚センター(仮称)は、港のロケーションを活かして、新鮮な魚介類の販売や食事、休憩、水辺を展望しながらのふれあい空間を提供するもので、飛鳥との定期船の発着所との併設により、観光などのインフォメーション機能も備えております。

また、周辺を緑地として整備し、近接する山居倉庫や日和山公園など中心市街地内にあります観光拠点との連携を図り、観光客や市民が「みなと酒田」を満喫できる拠点の一つとなります。

1階では新鮮な魚や干物等の魚介類を安く提供し、2階は酒田港を展望できる飲食コーナーと観光や釣りなどの情報を発信するふれあい交流スペースとなります。

酒田鮮魚センター(仮称)のオープンにより、安くて、新鮮な魚介類を豊富に取り揃え、酒田を訪れる方々をお待ちしております。



酒田鮮魚センターイメージ図

【編集】

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク事務局
東北地方整備局 港湾空港部 港湾計画課 尾崎、勝又
TEL : 022-716-0005 FAX : 022-716-0018

